

Discover Chiba

千葉が誇る

日本



千葉県PRマスコット
キャラクター テーパくん
千葉県許諾第A3-45



第13回

四街道市めいわ地区

《今回の日本一》

・ガス灯の数





四街道市めいわ地区に設置されたガス灯228基は

ガス灯の数日本一!



JR総武本線の四街道駅から南へ約1キロメートルに位置する四街道市めいわ地区。整備された街区にゆったりとした戸建て住宅が建ち並ぶ、いわゆる新興住宅地のこのエリアには、全長1.6キロメートルにわたって道路沿いにガス灯が設置されています。その数は228基で、日本で一番多くガス灯がある街にランキングされています。

千葉市や都心に通勤する人々に向けた住宅地として開発がスタートしたのは1985年(昭和60年)のこと。約80ヘクタール、当初の計画人口8,000人という大規模な宅地開発にあたって、土地区画整理組合の地権者や事業主である建設会社、そして四街道市が集う会合で「街のシンボルになるものを」と検討を重ねた結果、当時、市営で行っていたガス事業に注目したことがきっかけとなりました。計画が進む

中で「設置するからには日本一の数を目指そう」とガス灯のある街路が整備されました。

めいわ地区にガス灯が初めて点灯したのは、実際に分譲が開始された1992年(平成4年)。チラチラと発光するガスの炎はオレンジ色に揺らめき、柔らかな光を放ちます。初点灯から21年目となるガス灯は、地区に暮らす1,100世帯の人々に愛される街のシンボルであり、優しい光を眺めようとわざわざ遠くから訪れる人々の目を楽しませてくれています。



●街に灯をともすガス灯は3種類●



①3灯式ガス灯(電気併用タイプ)

四街道市の木である桜の花びらをデザインしたもの。主要交差点に38基設置されていますが、交差点の照度を確保するため、ガス灯の上部に電気によるスポットライトが付けられています。



スポットライトが点灯すれば、照度を補うことができ、交差点で歩行者や運転者の安全確保ができます。

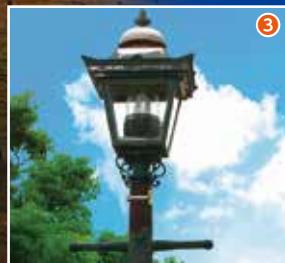


②2灯式ガス灯

2灯式のガス灯が最も多く、128基設置されています。



▲2灯式・3灯式のガス灯の下には、歩行者の足元を照らすボーラード灯が設置されています。夜間、ガス灯が消灯してからもボーラード灯の照明は点灯しています。



レトロデザインガス灯③

古き良き時代のガス灯をイメージさせるレトロなデザインのガス灯。近隣公園付近から四街道中学校、四街道鹿渡線を結ぶ歩行者専用道路にレトロデザインのガス灯(1灯式)62基が設置されています。

《参考》★日本全国にある主なガス灯とその数

●仙台市	仙台駅西口周辺のガス灯	110基
●小樽市	小樽運河のガス灯	63基
●横浜市	馬車道のガス灯	60基
●大阪市	三休橋筋のガス灯	50基
●東京都小平市	ガスミュージアムのガス灯	16基
●東京都港区	新芝運河沿緑地 旧東京ガス用地前の運河沿い遊歩道のガス灯	10基

●ガス灯の配置図



インタビュー

街を優しく照らすガス灯は、ここに暮らす人々の誇りです。



戸田建設株式会社
不動産事業部
四街道販売センター
荒井 勤さん

す方々が「安らぎを感じる街」、「住んでいることを誇らしく思える街」にとの思いから、関わった様々な人たちの知恵と熱意により、ガス灯のともる街が誕生しました。

ガス灯は、夏と昼の日没時間によって変わりますが、夕方の5時ごろに明かりが点灯します。仕事を終えて帰宅するときなど、ほのぼのとした明かりが醸し出すやわらかな光を見ると、一日の疲れが癒されます。また、光の波長のせいだと思われますが、ガス灯の光の周りには虫が寄ってきません。それも街並が美しく見える要因でしょう。今では、住民に親しまれるば

私は、めいわ地区を開発した建設会社の社員ですが、自分自身も区画整理組合の一員となり、事業に参加しました。事業を進める中で、街のシンボルになるものをガス灯にしようという意見に対し、維持管理費用の観点を含めて反対の声もあります。しかし、ここに暮ら



▲完成当時のガス灯通り

かりか、この街のガス灯を見ようと、遠くからやってくる方々もおられます。分譲を開始してから21年。この街を愛し、実際にこの街に住んでいる私としても、改めてガス灯のある街にして良かったと思います。

この街には西に600世帯、東に400世帯の自治会があり、ガス灯のある街に暮らす家族として交流を重ねてきました。年2回の清掃活動は、ガス灯のある街並への愛着を深めますし、自治会ごとの夏祭りもガス灯のある街の恒例イベントとしてすっかり定着しました。LEDの時代になり、世の中の流れに逆行しているような存在に思われるかもしれません、だからこそ住民にはこの街のガス灯のともしうを守っていきたいという気持ちがあるのだと思います。

ガス灯のはじまり!

ガスの燃焼によって発する光を利用するガス灯は、1792年にイギリス人のウィリアム・マードックによって実用化されました。日本では、1871年(明治4年)に大阪の造幣局で初めて西洋的なガス灯が点灯されました。その翌年の1872年(明治5年)には、横浜の馬車道本通りでガス灯が使われ、1874年(明治7年)になると、東京の京橋から金杉橋間にもガス灯の街灯が誕生しました。



▲現在も残る造幣局創業当時のガス灯(大阪市)



▲初期のガス灯。
炎が直接出ていて
あまり明るくない。

当時のガス灯は、黄色い炎が燃えているだけで、さほど明るいものではありませんでした。しかし、夜間は提灯を持たなければ暗くて外が歩けなかった時代にガス灯は大変珍しく、これを目当てに多くの見物人が集まつたそうです。1886年(明治19年)にオーストリアで「ガスマントル」が開発されると、ガス灯は一気に5倍の明るさに。夜でも白と黄色が区別できるようになったのでショーウィンドウや家庭でも使われるようになりましたが、電灯の普及とともに昭和12年頃には姿を消していきました。



▲初期のものと比べると
数段明るくなった現在の
ガス灯。(めいわ地区)



▲横浜・馬車道
十番館の店先に
復元された明治
時代のガス灯。

さに。夜でも白と黄色が区別できるようになったのでショーウィンドウや家庭でも使われるようになりましたが、電灯の普及とともに昭和12年頃には姿を消していきました。

※ガスマントル：木綿などの糸で編んだ網袋に発光剤(セリウムなど)を吸収させたもので、ガスの炎にかぶせると、明るく青白い光を放つもの。

千葉県のガス灯の普及は天然ガスの発見から!

1891年(明治24年)の5月、夷隅郡大多喜町で醤油醸造業を営む太田卯八郎氏の屋敷内で井戸を掘っている最中に、真水ではなく天然ガスが噴出。これが千葉県初の天然ガス発見となりました。すでに横浜では1872年(明治5年)に、東京では1874年(明治7年)にガス灯が点火され、ガスの利用が始まっていました。

千葉県でも、噴出した天然ガスは徐々に人々の暮らしに役立てるようになりました。茂原地方では天然ガスを利用しようと井戸が掘られ、簡易なガス溜から配管をつなぎ、風呂や炊事、暖房の他、石油ランプの代用として照明にも使用されるようになっていました。1899年(明治32年)、成田瓦斯合資会社が天然ガスを利用したガス灯を成田町(現・成田市)に設置し、これが千葉県初のガス灯だとも言われています。

千葉県内にある主なガス灯



●市川市 JR市川駅南口



●習志野市 JR津田沼駅南口



●成田市 成田市役所



●佐倉市 佐倉市立美術館



●大多喜町 天然ガス記念館



●山武市 成東文化会館のぎくプラザ



ガス灯の下を走り抜けるロードレース!

四街道ガス灯ロードレース大会



▲一般部門のようす



▲小学生部門のスタート



▲車椅子部門のようす

四街道中央公園をスタートし、街の名所にもなっているガス灯通りを駆け抜ける「四街道ガス灯ロードレース大会」。街路樹が色づき、228基のガス灯と相まってロマンティックな秋を感じさせる11月に、今年も第16回目の開催が予定されています。

10キロから1.2キロまでの4コースと24部門の幅広い設定なので、子供から大人まで自分に合ったコースでエントリーできるのも人気の理由です。また視覚・知的障がいの方や車椅子の方の部門もあり、参加する人々と沿道で応援する人々が一体となって、毎年感動的なレースが繰り広げられてきました。当日は参加者だけでなく、応援者にもお味噌汁が提供されます。日本一のガス灯通りを舞台に県内外の参加者が走り抜けるロードレース大会。ガス灯通りを散策しながら応援に出かけてみませんか。



- 開催日／平成25年11月17日(日)
- 会場／四街道中央公園
- 開会式／午前8時45分より
- 種目／10キロ・5キロ・2キロ・1.2キロ
小学生から一般・障がい者・車椅子部門
- ※今年の参加受付はすでに終了しています。
- お問い合わせ／四街道ガス灯ロードレース大会実行委員会事務局
TEL.043-424-8926



知ってる?

知らない?



めいわ地区周辺
インフォメーション!

探訪スポット

四街道の発祥を証明する「よつかどの碑石」

JR四街道駅から500メートルの距離にある「四街道交差点」には、北・東・南・西の各方角にある4つの街道の名が書かれた「よつかどの碑石」が建てられています。

◇石碑に記された
街道名

北：成田山道
東：登宇がね(東金)・
馬渡道
南：千葉町道
西：東京・船橋道



樹齢100年を超える松の道

「松並木通り」

JR四街道駅北口を県道四街道・上志津沿線沿いに歩くと、道路の両側に松がたくさん植えられているのがわかります。この松の木は明治時代に植えられた樹齢100年を超える巨木たち。今なお見事な枝振りで、通りに歴史を感じさせる風情を漂わせています。



ガス灯の街のグルメ情報

◎フィグフィグ 1個 ¥420(税込)



「フィグ」とはフランス語で「イチジク」のこと。赤ワインで煮たイチジクをババロアにし、生のイチジクをトッピングした秋の季節限定商品。静岡の厳選したイチジク使用の逸品は11月末まで販売しています。

ティーンカーベル四街道店

四街道市めいわ1-1-9 TEL.043-433-4433

●営業時間／午前10時～午後7時

●定休日／毎月曜日、月一回 火曜日

◎ファミリーセット (3人前) ¥6,300(税込)



カウンター席もある落ち着いた店内は居心地がいい。カルビ・ロース・豚カルビ・キムチ(白菜)・ナムル盛り合せ・サンチュ・野菜盛り合せがセットになったコースは、お肉の質も良くお得感があります。

焼肉 煉華亭(れんがてい)

四街道市めいわ1-25-17 TEL.043-432-0429

●営業時間／午後5時～午後11時

●定休日／毎週水曜日(祝日の場合は営業)

◎焼小籠包 4個 ¥390(税込)



豚の挽肉で作った餡を小麦粉の皮で包み、鉄鍋にぎっしり敷き詰めて豪快に蒸し焼きにした小籠包。コラーゲンたっぷりの肉汁の風味は格別。熱々の焼き立てを持ち帰るティクアウトが人気です。

香香生煎館(シャンシャンシェンジエンカン)

四街道市めいわ2-1-1 MEGAドン・キホーテ四街道店 1F

携帯 080-4453-2858 TEL.047-406-3237

●営業時間／午前10時～午後9時 ●定休日／なし